



第56回 日本脈管学会総会

The 56th Annual Meeting of Japanese College of Angiology

脈管を守る

— 医学・医療と社会の連携 —

演題募集期間 (予定)

2015年4月23日(木)~6月12日(金)

2015年

10月29日(木) ▶ 31日(土)

会場

虎ノ門ヒルズフォーラム

〒105-6305 東京都港区虎ノ門1-23-3
虎ノ門ヒルズ森タワー4階5層

会長

磯部 光章

(東京医科歯科大学 循環器内科)

副会長

井上 芳徳

(東京医科歯科大学 血管外科)

<http://jca56.umin.jp>

運営事務局

株式会社ICSコンベンションデザイン内

〒101-8449 東京都千代田区猿楽町1-5-18
Tel: 03-3219-3541 Fax: 03-3219-3577
E-mail: jca56@ics-inc.co.jp

第56回日本脈管学会総会 プログラム (予定)

西大記念講演	システム医学としての循環器病学 永井 良三 (自治医科大学 学長)
会長講演	高安病：今、昔 磯部 光章 (東京医科歯科大学 循環器内科)
特別講演	PAD 診療の最近の話題：TASC Update 重松 忠 (国際医療福祉大学 臨床医学研究センター)
	脳血管内治療と医療連携 根本 繁 (東京医科歯科大学 血管内治療科)
招待講演	Surgical Revascularization of CLI in the Era of Strong Endovascular Development Anders Alback (Department of Vascular Surgery, Helsinki University Hospital)
教育講演	病態が分かると脈管学はもっと面白い 太田 敬 (愛知医科大学 大誠会第一病院 血管外科)
	脈管を守るための血管機能検査 山科 章 (東京医科歯科大学 循環器内科)
	肢の痛み・むくみ：病歴と身体所見の取り方 古森 公浩 (名古屋大学大学院 血管外科)
	マルファン症候群 up-to-date 今井 靖 (自治医科大学 循環器内科学部門)
シンポジウム	大型血管炎の診断・治療の最前線 脈管疾患制圧に向けた抗血栓治療の役割 跛行肢に対する治療選択 — どの症例にどの戦略が best practice か？ 大動脈瘤ステントグラフトの進歩 脈管疾患の画像診断の進歩 血管の再生治療の現状と展望 Vascular team の現状 コメディカルにとっての脈管学とは？
ワークショップ	CLI：フットケアによる予防と治療 下肢静脈瘤 CTEPH と PTE の治療をめぐる

その他、脈管専門医教育セッション、症例検討、Japanese College of Angiology Award (JCAA)、共催シンポジウム (JCAAC シンポジウム)、共催セミナーなどを予定しています。